



発行：2010年12月

指定管理者 (財) 千葉県まちづくり公社

冬の健康管理対策は大丈夫!?

冬は湿度が低く、乾燥しやすく寒い季節です。この季節になりますと“バチッ!”と静電気が発生してビックリしますよね。静電気は人だけではなくワンちゃんにも起こります。冬になるとワンちゃんのトリミングも

長めにカットしたり、寒さ対策に服をさせたりと・・・

実はこれがもつれや毛玉の原因になります。

家の中でもずっと服を着せたままだと服と毛がこすれてどんどんもつれていき毛玉を作ります。服の下が全部毛玉に

なっていたなんてことになったら大変です。散歩以外は服を着せるのを控えたほうがいいでしょう。

散歩から帰ったら服を脱がせて、必ずブラッシングをしてください。この時、ブラッシングスプレーを使うと静電気の発生を抑えられます。

毎日のブラッシングは血行もよくし健康チェックにもつながります。(ブラッシングスプレーの使い過ぎには注意!)また、シャンプーの時に、寒いからとお湯の温度を高くしたり、ドライヤーの熱風で皮膚や被毛を乾燥させすぎないように注意しましょう。部屋の温度を高くしてからシャンプーを心がけてください。シャンプー後にリンスやトリートメントも静電気の発生を抑える効果があります。

乾燥することにより皮膚がかさかさになったりひび割れや痒みを感じたりと皮膚のトラブルも起こりやすくなります。呼吸器系の病気の心配もあります。室内の乾燥を防ぐために加湿器などをつけてあげましょう。

【冬の室内で注意すること】

暖房器具のストーブやハロゲンヒーターで火傷したり、安全だと思われているこたつ、ホットカーペットや電気毛布なども長時間同じ姿勢でいると低温火傷の心配があります。また、電気コードをかじり感電の心配も考えられます。電気コードなどの保護用チューブを巻いて防止対策をしましょう。

【ワンちゃんの風邪に注意!】

冬は、冷たい空気が喉を刺激しやすい季節です。空気が乾燥して寒い冬は喉や鼻の粘膜の働きが弱まり、抵抗力が下がるためウイルスや細菌が入りやすくなります。ウイルスは低気温で低多湿を好みます。ワンちゃんも人間と同様に風邪を引きます。ケンネルコフ(犬の咳)と呼ばれ咳をしたり熱が出たりすることで気がつくことが多く、ケンネルコフを治すお薬はありませんが、咳や炎症を抑える抗生物質や体力を回復する点滴や注射などで免疫を上げて治療します。但し、風邪だから自然に治るまで待とう!と治療しないでおくと、人間と同じように風邪をこじらせて肺炎を起こしてしまうこともありますので、きちんと動物病院で治療をしましょう。特に老犬や体力が落ちたワンちゃんはウイルスが入りやすくなるので正しい寒さ対策をしてあげることが大切です。

ドッグラン ボランティア お知らせ

【ボランティア活動日】

2010年1月7日(金) 9時30分～10時30分

活動内容：公園パトロールを予定(雨天中止)

ドッグランボランティア&ワンちゃんのご参加をお待ちしています。

年末年始のお知らせ

2010年12月28日(火)～

2011年1月4日(火)

※試験的に本年度は年末年始もご利用いただけます。

【利用時間】AM9時～PM17時

* 柏の葉公園も試験的にご利用できますが青葉の森公園は休場いたします。(利用日・時間など異なります)事前に各公園にご確認ください。

※本紙に記載されている内容については、都合により変更になる場合があります。詳しくは下記までお問い合わせください。

北総花の丘公園管理事務所

〒270-1341 印西市原山1-12-1

TEL:0476-47-4030